

令和7年12月定例会 一般質問通告一覧表

一般質問予定日程		
12月9日	(火)	2人
12月10日	(水)	6人
12月11日	(木)	6人
12月12日	(金)	2人

三郷市議会

通告番号 1 議席番号 6 氏 名 竹 内 嘉 洋

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 交通問題	<p>1. 公共交通政策について</p> <p>ア. 三郷市地域公共交通計画 日々の生活に欠かすことのできない公共交通と移動の問題は、多くの地域で維持に関しても解決が難しい状況を迎えている。</p> <p>現在、現行計画の見直しが進められている「三郷市地域公共交通計画」は地域に適した交通の在り方を示すものであると認識しているが、策定に至る経緯と概要について伺う。</p> <p>イ. 地域を支える公共交通の展望 路線バス事業の撤退や減便など縮小傾向が現実となっている。三郷市においても地域ごとに課題は異なると捉えているが、公共交通の今後の予測や、移動手段の確保について考え方を伺う。</p>	まちづくり推進部長
2 安全対策	<p>1. 歩道を兼ねる水路の蓋架けについて 歩道を兼ねる蓋架け水路については、経年劣化により蓋がたわみ、段差が生じている箇所が見受けられ、歩行者がその段差につまずき転倒する恐れがある。</p> <p>災害時には、学校をはじめとした各避難所へと向かう避難路の一つとして、蓋架け水路の利用が想定されるが、歩行者が安全・安心に通行するための、維持管理や蓋架け整備について伺う。</p>	建設部長
3 教育問題	<p>1. 三郷市の教育行政について 教育長に就任されてから1ヶ月が経過した。教育長として、今後の三郷市の教育行政について、どのようなお考えがあるのか、今後の展望も含めて伺う。</p>	教育長

通告番号 2 議席番号 7 氏 名 沖 原 優 子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 福祉問題	<p>1. 介護保険事業における総合事業の現状と今後の方向性について</p> <p>介護保険制度の中でも総合事業は、要支援者が「それぞれ地域で安心して暮らし続けられるよう支えること」を目的としており、本人の生活の質の向上と、介護保険財政の持続可能性の確保において重要な役割を担っている。要支援段階で適切な支援を行い、自立を維持することができれば、施設入所や重度化を防ぐことにつながり、結果として保険料負担の抑制にも寄与する。</p> <p>現場からは「人材不足により入所が難しいケースがある」との声も聞かれる。介護人材の不足が深刻化する中で、限られた人材をより重度の方に集中できるよう、要支援者の自立支援を推進することが不可欠である。そのためには、身体機能の維持・改善を促すリハビリ専門職の関与が必要である。</p> <p>特に短期集中型のサービス（サービスC）では、リハビリ専門職の介入による効果が高いとされているが、本市では現在、従前相当サービスのみが実施されており、訪問型サービスA、通所型サービスBや短期集中型サービスC、住民主体型サービスDの実施には至っていない。介護予防の取組をより実効性あるものにするためには、これらの事業拡充と専門職の活用が必要である。</p> <p>大阪府大東市では、地域包括支援センターにリハビリ専門職を配置し、自立支援型の介護予防を推進した結果、介護度の維持・改善や保険料抑制の効果が報告されている。本市においても、自立支援</p>	いきいき健康部長

	<p>の視点を明確に持ったサービス展開が求められる。</p> <p>以上を踏まえ、以下について伺う。</p> <p>ア. 本市における従前相当サービスの提供内容および実施状況について。また、その内容に自立支援の視点がどのように反映されているか</p> <p>イ. 短期集中型サービスCをはじめ、総合事業の拡充に向けた今後の計画について</p> <p>ウ. 介護人材の不足の現状とその見通しについて。また、自立支援の推進により、重度者支援の質向上および介護保険料抑制につなげる考えについて</p> <p>エ. 住民主体の通所型サービスBは、制度としてだけでなく、地域の「共助の力」を育む場としても重要である。近所同士のつながりや見守りのきっかけづくりにも寄与することから、本市としてどのように育成・支援を進めていく考えか。</p>	
2 学校教育	<p>1. 発達障害児および診断基準は満たないものの困り感を抱えたこどもの就学後支援体制について</p> <p>発達障害児の支援については、未就学期には療育センター等での支援が比較的整備されているが、就学後は支援体制が途切れやすく、自治体間で大きな格差が生じている。特に、診断がない、または診断を望まない診断基準は満たないものの困り感を抱えたこどもたちは制度の狭間に置かれやすく、医療機関や学校との連携が難しい状況にある。</p> <p>自身が医療機関において小児リハビリ外来を立ち上げた経験からも、高学年になるにつれ、不登校の背景に発達特性が関与する事例を多く見てきた。環境や関わり方の工夫により支援が不要となる場</p>	福祉部長 学校教育部長

	<p>合も多く、早期に適切な支援を行うことが、学びの機会を守ることにつながると考える。</p> <p>岐阜県飛騨市では、「学校作業療法室」を全ての小中学校に設置し、作業療法士が児童生徒の困りごとを支援している。この取組は、子どもたちの発達特性に応じた学習環境の整備のみならず、教員が支援方法を学ぶ場にもなっている。</p> <p>一方で、本市においては「教員が接し方がわからず、結果的に支援が行き届かない」との声を保護者から聞くこともあり、支援体制の強化と教員の学びの機会の充実が求められる。</p> <p>以上を踏まえ、以下について伺う。</p> <p>ア. 本市における就学後の発達障害児および診断基準は満たないものの困り感を抱えたこどもの支援体制と、教育・福祉・医療の連携状況について</p> <p>イ. 教員および支援員に対する発達障害理解の研修や学びの機会の現状と今後の方針について</p> <p>ウ. 専門職（作業療法士・理学療法士等）の学校現場への配置、または外部連携による支援強化の可能性について</p> <p>エ. 発達特性に応じた環境調整や学習支援の充実に向けた今後の対応について</p>	
3 子育て問題	<p>1. 共同親権施行後、未就学児を受け入れる公立保育所において想定されるトラブルへの対応について</p> <p>共同親権の導入により、幼児教育・保育現場では、園での引き渡し時の混乱、緊急時判断の遅れ、連絡系統の複雑化、行事参加に関する保護者間トラブルなどが発生する可能性が専門家から指摘されている</p> <p>保育現場は家庭状況の影響を受けやすく、未就学児は特に心理的な影響も大き</p>	こども未来部長

	<p>いと考えられることから、事前の体制整備が重要であると考え、以下について伺う</p> <p>ア．市として、保育・幼児教育施設が判断に迷わないための、引き渡し・緊急時対応・情報共有方法等に関する統一ガイドラインを作成する予定はあるか</p> <p>イ．共同親権に関するトラブル発生時、園だけで抱え込まず、行政・園・家庭が連携して対応できる専門相談窓口や支援体制を設ける考えはあるか</p> <p>ウ．家庭環境の変化により、子どもが不安や葛藤を抱える可能性が高い。市として、保育士がこうした変化に早期に気づくための仕組み、また、必要に応じて専門職につなげられる心理的支援体制をどのように整えるのか伺う</p>	
--	--	--

通告番号 3 議席番号 17 氏 名 寺 沢 美 紗

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 学校教育問題	<p>1. 2026 年度から始まる市立小学校における学校給食費無償化について</p> <p>ア. 本市の給食の現状について伺う。安心安全で美味しい給食は本市の誇るべき食育と考えるが、実施にあたりどのような努力をされているのか、特に留意している点も含めて伺う。</p> <p>イ. 2026 年度実施予定の学校給食費無償化について伺う。国は 2026 年度から、全国で給食無償化を実施する方針を示しているが、本市に交付される予算額の見込みは？また、国の補助対象となる範囲について伺う。</p> <p>ウ. 給食費無償化に伴うリスクについて伺う。すでに無償化を実施している自治体では、いわゆる「めざし一本」「そら豆数個」といった、献立の簡素化や質の低下が指摘されている事例もある。本市において、同様の事態が生じる可能性について伺う。</p> <p>エ. 学校給食費無償化に伴う、給食の質の維持および物価高騰対策について伺う。国からの予算措置のみで現行の「安心・安全・質」を維持することは可能なのか？また、物価高騰への対応についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>2. 2026 年 4 月から離婚後の共同親権制度が施行されることを踏まえ、義務教育現場で想定されるトラブルへの対応について</p> <p>共同親権の施行により、学校における引き渡しの混乱、緊急時の判断、学校連絡の共有方法、行事参加に関するトラブルなど、学校現場での混乱が発生する可</p>	学校教育部長

	<p>能性が指摘されている。</p> <p>本市として、こうした課題をどのように想定し、事前にどのような体制整備やガイドライン策定を検討しているのか伺う。</p> <p>ア．市として、学校側が判断に迷わないための統一ガイドラインを作成する予定はあるか。</p> <p>イ．トラブル発生時に学校が単独で抱え込まないよう、行政・学校・家庭が連携できる相談窓口を設ける考えはあるか。</p> <p>ウ．家庭環境の変化により子どもが心理的な不安や葛藤を抱える可能性があるが、学校としてどのように早期に“気づき”、どのような心理的支援体制を整えていくのか伺う。</p>	
--	---	--

通告番号 4 議席番号 21 氏名 柳瀬勝彦

質問事項	質問要旨	答弁指定者 (機構順に記載)
1 福祉問題の合理的配慮について	<p>1. 二十歳のつどいについて</p> <p>ア. 現在市が行っている合理的配慮について</p> <p>①聴覚障害者への配慮について行っていること</p> <p>②視覚障害者への配慮について行っていること</p> <p>③車いす利用者への配慮について行っていること</p> <p>④知的障害者への配慮について行っていること(大きな声を出したり、多動な人に対する配慮)</p> <p>2. 市が郵送する配布物について</p> <p>ア. 視覚障害者への配慮は行っているか</p> <p>①二十歳のつどいの案内はがき</p> <p>②投票所入場券</p> <p>③その他市から送られる郵送物の配慮</p> <p>イ. 知的障害者への配慮は行っているか</p> <p>3. みさとシティハーフマラソンの合理的配慮について</p> <p>ア. 視覚障害者への配慮は行っているか</p> <p>イ. 知的障害者への配慮は行っているか</p>	地域振興部長 福祉部長 生涯学習部長
2 子育て問題について	<p>1. こども誰でも通園制度について</p> <p>ア. 本市の状況と今後の方針等について</p>	こども未来部長
3 社会問題について	<p>1. 外国にルーツを持つ子どもたちへの支援について</p> <p>ア. 三郷市における外国籍のこどもの数について。二重国籍、無国籍のこ</p>	学校教育部長

	<p>どもの数について</p> <p>イ. 通学しているこどもの数について</p> <p>ウ. 学校における外国籍のこどもたちへの配慮について</p> <p>エ. 学校における保護者への配慮について</p> <p>オ. 日本語指導だけでなく、学習面・生活面・進路面など、より包括的な支援を行うために、今後どのような取り組みを検討しているのか</p> <p>カ. 安心して学び、夢を描ける環境を整え、「誰も取り残さない教育」の取り組みについて</p>	
--	--	--

通告番号 5 議席番号 12 氏 名 西 村 寿 美 枝

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機 構 順 に 記 載)
1 行政問題	1. 電話リレーサービス「手話リンク」の導入について	企画政策部長
2 教育問題	1. 児童生徒の泳力について ア. 夏季の猛暑による水泳授業の現状について イ. 三郷市の児童生徒の泳力の現状について ウ. 水泳授業時間を確保するための検討について	教育長 学校教育部長

通告番号 6 議席番号 8 氏 名 西 尾 秀 貴

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 シティプロ モーション	<p>1. セナリオハウスフィールドの大型ビジョンについて</p> <p>ア. セナリオハウスフィールドの大型ビジョンの使用についてお伺いします。</p> <p>イ. 来年大きなスポーツイベントが3つあります。それらの大会のパブリックビューイングをやるなどすれば、何より市民のみなさんに楽しんでもらえますし、市民参加、地域コミュニティの向上につながります。その他にも市内事業者の売り上げ向上、そして人が集まることにより、防災、安全運営能力の向上などパブリックビューイングを開催することによってたくさんのメリットもあります。そこで、今後のその他の大会も含めパブリックビューイングについてどうお考えなのかお聞かせください。</p> <p>ウ. パブリックビューイングなどのイベントが行われると、参加したみなさんがSNSへ投稿してくださったり、イベントの様様を新聞等に掲載してもらうなど、様々な形で三郷が広まり、三郷をアピールすることにつながると思います。そこで、パブリックビューイングなどのイベントが行われたときのプロモーションについてお考えをお聞かせください。</p>	企画政策部長 地域振興部長

通告番号 7 議席番号 4 氏 名 高 橋 誠 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 財政運営	<ol style="list-style-type: none">1. 財源の発掘について市としての具体的な取り組み状況及び今後の方向性について2. 今後の財政運営において地域経済の循環を高める政策の強化について3. 市内事業者の競争力強化や販路拡大、企業間連携の促進といった稼ぐ力を高める施策について、現状の体系と今後の展望4. 事業の大胆な見直しについての市としての具体的な方針5. 今後の商工地域経済分野における政策の費用対効果の可視化や民間との協働強化について	企画政策部長 財務部長 地域振興部長
2 野生動物出没問題	<ol style="list-style-type: none">1. 三郷市における野生動物の出没状況 ア. 過去数年間で寄せられた市民からの通報件数 イ. 農作物や生活被害の実態 ウ. 把握しているリスクの高い地域2. 市の初動対応について ア. 窓口となる部署は イ. 市内でイノシシ等の大きな動物が確認された場合の緊急公報3. アライグマ等外来生物の強化について ア. 市民向けの啓発活動の実施状況	市民生活部長

通告番号 8 議席番号 3 氏 名 日 高 千 穂

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 法人による 住民票・除 票の写し請 求に関する 当市の現状 について	1. 日本放送協会略称NHKが自治体に対して行う「住民票・除票の写し」の請求手続きの曖昧さが指摘されている昨今、当市における法人の請求現状について問う ア. 法人における第三者の住民票または除票の写しの具体的な申請条件と方法はどのようなものか伺う イ. 本市では、法人が住民票または除票の写しを請求する際、どのような疎明資料の提出を求めているのか、また、その必要性の判断基準をどのように整理しているのか現状の運用を伺う	市民生活部長
2 東埼玉消防 指令センタ ーについて	1. 来春、埼玉県東南部地域で稼働する「東埼玉消防指令センター」についてこれにより三郷市の消防署はどう変わるのか、課題・準備状況について問う ア. 指令センターの業務フローはどうされているのか伺う（通報受理→出動指令→情報共有） イ. 各所属の出向人数と総勢数を伺う ウ. 高齢者や外国人からの通報対応で課題はあるのか伺う エ. デジタル化によるA I（音声認識・通報解析）の活用や今後の展望について伺う オ. 建物の耐震性・防災性能はどのレベルで確保されているのか伺う	消防長

通告番号 9 議席番号 13 氏 名 桑 原 洋 昭

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 道路問題	1. 道路維持管理について ア. 道路における損傷箇所の把握、県・ 国との連携等の維持管理の現状について イ. 道路修繕箇所通報システム導入について	建設部長
2 地域交流問題	1. 三郷市コミュニティ協議会支援事業について ア. 備品の現状、使用状況、管理について イ. 多世代交流・地域活性化への備品の活用、周知について	地域振興部長

通告番号１０ 議席番号１９ 氏 名 鳴 海 和 美

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 子育て支援 問題	<p>1. 「こどもショートステイ」の取組みについて</p> <p>ア. 保護者が子どもを養育できないなどの際に子どもを一定期間預かる制度だが、三郷市ではどのように取組む予定か</p> <p>イ. 児童養護施設等で預かることとなっているが、該当施設がない三郷市では、どの様な施設が検討されるか、または市外施設との連携はどうか</p>	こども未来部長
2 行政問題	<p>1. 市役所南側出入り口の自動ドア設置について</p> <p>ア. 健康福祉会館との行き来に利用する方は高齢者や乳幼児連れが多い為、自動ドア設置を検討すべきと考えるが見解は</p>	財務部長
3 交通問題	<p>1. 戸ヶ崎交差点・潮止橋間、県道５４号線の歩行者の安全対策について</p> <p>2. 「サイクルアンドバスライド」について</p> <p>ア. 利用状況について</p> <p>イ. 今後の増設予定はあるのか</p> <p>ウ. 盗難等が発生しているようだが防犯対策について</p>	市民生活部長 まちづくり推進部長

通告番号 11 議席番号 11 氏 名 紺 野 伊 久 子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 生活保護者のエアコン設置について	<p>1. エアコン購入について</p> <p>ア. エアコン購入の実態はどうか？低額のエアコンが購入できなくなるがその対策はどうするのか？</p> <p>イ. 冬季加算はついているが夏季加算もつけられるように国に意見を上げてほしい</p> <p>2. 生活保護裁判の影響は</p> <p>ア. 生活保護基準の減額の最高裁判決が出たが三郷市内の利用者の影響はどうか？</p>	福祉部長
2 学童保育支援員の処遇改善について	<p>1. 学童保育支援員の処遇改善について</p> <p>ア. 現在公立児童クラブの支援員は、会計年度任用職員ですが、安全対策や危機管理上も、子どもたちが安心して過ごせる保育内容の計画など重責な業務内容からも正規職員としての引き上げをすべきと思うがどうか</p>	教育長 学校教育部長
3 農業問題について	<p>1. 三郷市内における耕作放棄地の実態について</p> <p>ア. 特定生産緑地の制度創設に伴う実態について</p> <p>イ. 農業者の後継者不足への対応と耕作放棄地における市としての今後の方針について</p> <p>ウ. 不耕作地などを使って市民農園の設置をして、市民が安心・安全な野菜作りが楽しめるようにしてほしい</p> <p>エ. 市民農園にトイレや水道の設置、作物作りの指導もできる農園にしてほしい</p>	地域振興部長 まちづくり推進部長
4 公園整備について	<p>1. 三郷市として土地を購入して市民の憩いの場となる公園の設置ができないか？</p> <p>ア. 東町の「ちびっこ広場」が地主の都</p>	まちづくり推進部長

	<p>合で閉鎖されるが、地主より買取り、存続をしてほしい。せめて、代替え地を見つけて整備すべきと思う。</p> <p>イ．市内の公園整備にあたって、トイレや水道の設置は必須だと思う。ボール遊びができる環境整備や遊具・砂場の整備、特に砂場のネットを設置してほしい。</p>	
--	---	--

通告番号 12 議席番号 9 氏 名 深 川 智 加

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 地域経済対策	1. 住宅リフォーム補助制度の拡充について ア. 内容と件数、地域経済効果は イ. 住宅リフォームに特化した補助制度を	市長 地域振興部長
2 防災問題	1. 家具転倒防止対策の推進について ア. 本市の取り組みは イ. 高齢者や障がい者等へ家具転倒防止器具の取付支援を	危機管理監
3 介護問題	1. 報酬引き下げで苦しむ訪問介護事業所への支援について ア. 実態把握はどのような イ. 市独自支援策の実施を	市長 いきいき健康部長
4 学校給食	1. 豊かな学校給食の提供について ア. 地産地消と有機農産物の活用についての考えは イ. 瑞沼学校給食センターアレルギー対応室の今後の活用について ウ. 学校給食の無償化について市長の考えは	市長 学校教育部長
5 市民サービス	1. 連絡所について ア. 開所日数の見直しについて イ. 連絡所の利便性向上を	市民生活部長

通告番号 13 議席番号 14 氏 名 柴 田 吾 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 環境問題	1. リチウムイオン電池の回収について ア. 現在の取組について（方法、回収場所、実績、処分の方法、予算、広報の方法） イ. 今後の回収方法について（周知方法、周知場所、回収方法、回収場所）	市民生活部長
2 財政問題	1. 経常収支比率の悪化について ア. 分析結果と評価について イ. 対応策と影響予測について 2. デジタル予算書について ア. 予算や事業の可視化について イ. デジタル予算書の導入について	企画政策部長 財務部長

通告番号１４ 議席番号１０ 氏 名 工 藤 智 加 子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 国民健康保険制度について	1. 国民健康保険税の子ども均等割の廃止で子育て世帯への支援を 2. 国民健康保険資格確認書は加入者全員に発行を 3. 特別療養費の支給にかかる対応について	市長 いきいき健康部長
2 中川の郷療育センターについて	1. センターの運営状況についての認識は 2. センター運営の継続を求めているが市長の見解は	市長
3 教育問題	1. デジタル化がこどもたちに及ぼす影響について ア. デジタル教材を活用した場合のメリット・デメリットの認識は イ. デジタル教材の活用は教員・現場の裁量で進めるべきだと思えるが見解は 2. I C T化を進める中での個人情報保護・管理のあり方について	教育長 学校教育部長
4 環境保全問題	1. 天神調整池の維持管理について	建設部長
5 公共下水道	1. 低所得者向けの水洗化費用助成制度の創設を	建設部長

通告番号 15 議席番号 5 氏 名 佐 藤 裕 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機構順に記載)
1 公共交通問題	1. 路線バス運営について ア. 路線バス乗降客数の推移について イ. 三郷市地域公共交通活性化協議会での、路線バス確保維持事業に関する意見について ウ. 三郷市地域公共交通活性化協議会での、事業計画から見る必要性に応じた運行計画に関する意見について	まちづくり推進部長

通告番号 16 議席番号 23 氏 名 佐々木 修

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 指 定 者 (機 構 順 に 記 載)
1 高架下の利 活用	<p>1. TX三郷中央駅周辺の高架下の利活用について</p> <p>都市交流拠点である三郷中央駅周辺の利便性向上や、にぎわいの創出を目的の一つとして高架下の利活用に対して様々な提案を行ってきました。キッチンカー等の実証実験や徐々に取り組みが行われているが、TX開業 20 周年を迎えたが今までの質問に対しての進捗、今後の取り組みについて伺う。</p>	<p>市長 まちづくり推進部長</p>
2 住宅政策	<p>1. 空き家等対策について</p> <p>空き家の管理は所有者が行うことが原則であり、市は所有者に対してアドバイスや指導を行うことで改善を促していると思うが、所有者に行き当たらない場合（所在不明・相続放棄）は、指導等で解決に繋げることが困難なケースがあると思うが、市としての対応を伺う。</p> <p>ア. 所有者不明、相続人不在等の空き家の対応</p>	<p>まちづくり推進部長</p>
3 災害対策	<p>1. ペット同行避難等について</p> <p>近年、災害に対する市民の不安が高まる中、三郷市でもペットを家族と捉える世帯が増加しています。何度も質問してきている内容ですが、今までの三郷市でのペット同行避難への質問に対しての進捗、また課題と対策を伺う。</p> <p>ア. 三郷市動物の愛護及び管理に関する条例</p> <p>イ. 自主避難場所と各指定避難所での同行避難体制の整備（マニュアルとスペース等）</p> <p>ウ. ペットを連れた避難者向けのスターターキット整備</p>	<p>危機管理監 市民生活部長</p>

	エ. 総合防災訓練におけるペット同行避難訓練の導入	
--	---------------------------	--